

## 板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025 実施計画 2025 実績報告

### 1 概要

令和3(2021)年3月に策定した板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025実施計画2025(以下、「実施計画」という。)の重点・推進事業について、令和3(2021)年度からの主な実績を報告する。

### 2 主な実績

#### (1) 実施計画 指針1の重点事業より

番号	01	事業名	ユニバーサルデザインガイドラインの更新			
担当課	障がい政策課					
事業概要	区、区民、地域活動団体、事業者が配慮すべきユニバーサルデザインの項目をまとめた「板橋区ユニバーサルデザインガイドライン」について、新しく確立された配慮事項や技術の進歩、ニーズの変化などによるノウハウの蓄積などを踏まえ、常に見直しを図り、最新情報に更新・公開することで、ユニバーサルデザインの意識啓発と行動変容を促します。					
年度別計画	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	
	更新	更新内容の検討	検討結果に基づき実施	検討結果に基づき実施	内容の見直し	

〈令和3～5(2021～2023)年度〉

- ・ユニバーサルデザインガイドラインの更新に向けた有識者への相談：2回
- ・「サインにおけるユニバーサルデザイン」の新章・事例・資料の追加

〈令和6(2024)年度※見込含む〉

- ・新章「サインにおけるユニバーサルデザイン」の章の内容を「UDニュース」にて発信

## (2) 実施計画 指針1の推進事業より

番号	10	事業名	ユニバーサルデザイン出前講座の実施
担当課	障がい政策課、生涯学習課		
事業概要	区民や地域活動団体、事業者を対象に、区の出前講座を活用して、学習会の場に区職員を講師として派遣し、ユニバーサルデザインを学び、生活の中で実践できるような機会を提供します。		

〈令和3～5(2021～2023)年度〉

- ・出前講座の実施 赤塚図書館 1回

〈令和6(2024)年度※見込含む〉

- ・出前講座の実施 淑徳大学 1回、
- ・子ども向け出前講座の実施 区立小学校 3回

## (3) 実施計画 指針2の重点事業より

番号	31	事業名	コミュニケーション支援機器等の活用		
担当課	障がい政策課				
事業概要	障がい者や外国人など、すべての人とコミュニケーションを行うため、ICT技術によるコミュニケーション支援機器などを活用し、すべての人が社会参加できる環境を整備します。				
年度別計画	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
	支援機器を活用した支援の実施 活用方法の検討	検討結果に基づき実施	検討結果に基づき実施	検討結果に基づき実施	検討結果に基づき実施

〈令和3～5(2021～2023)年度〉

- ・新たな機器 (SureTalk) の実証実験への協力

〈令和6(2024)年度※見込含む〉

- ・新たな機器 (KOTOBAL)の導入
- ・窓口等での KOTOBAL の活用 (常設4部署、貸出10部署、利用回数2,300回)
- ・機器の利用促進のための職員体験会(SureTalk・KOTOBAL)実施(4回)

#### (4) 実施計画 指針2の推進事業より

番号	33	事業名	避難所におけるユニバーサルデザインの推進		
担当課	地域防災支援課				
事業概要	高齢者や障がい者など要配慮者を含むすべての方が安全に避難所で過ごすことができるよう、避難所運営マニュアルの周知徹底を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した避難所運営について検討し、必要に応じて避難所運営マニュアルの見直しを行います。				

〈令和3～5(2021～2023)年度〉

- ・絵カードを指さして意思の確認ができる「コミュニケーション支援ボード」を各避難所に設置

〈令和6(2024)年度※見込含む〉

- ・避難所毎に、「女性のための災害対策ハンドブック」を新規配備

#### (5) 実施計画 指針3の重点事業より

番号	60	事業名	ユニバーサルデザインチェックの実施		
担当課	障がい政策課、都市計画課				
事業概要	区公共施設の改修時などに、その建築物がユニバーサルデザインの考え方に適合しているかなどを確認することにより、検討、評価、改善を切れ目なく実行し、好循環（スパイラルアップ）を生み出します。				
年度別計画	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
	実施 チェック項目 の点検	実施 チェック項目 の点検	実施 チェック項目 の点検	実施 チェック項目 の点検	実施 チェック項目 の点検

〈令和3(2021)年度〉

- ・実施：3件（区営仲宿住宅改築工事实施設計 ほか2件）

〈令和4(2022)年度〉

- ・実施：6件（区立赤塚小学校長寿命化改修工事基本計画 ほか5件）

〈令和5(2023)年度〉

- ・実施：8件（区立赤塚植物園管理舎改築工事竣工後評価 ほか7件）

〈令和6(2024)年度※見込含む〉

- ・実施：11件（植村記念加賀スポーツセンター大規模改修工事竣工後評価 ほか10件）

〈参考〉ユニバーサルデザインチェックとは

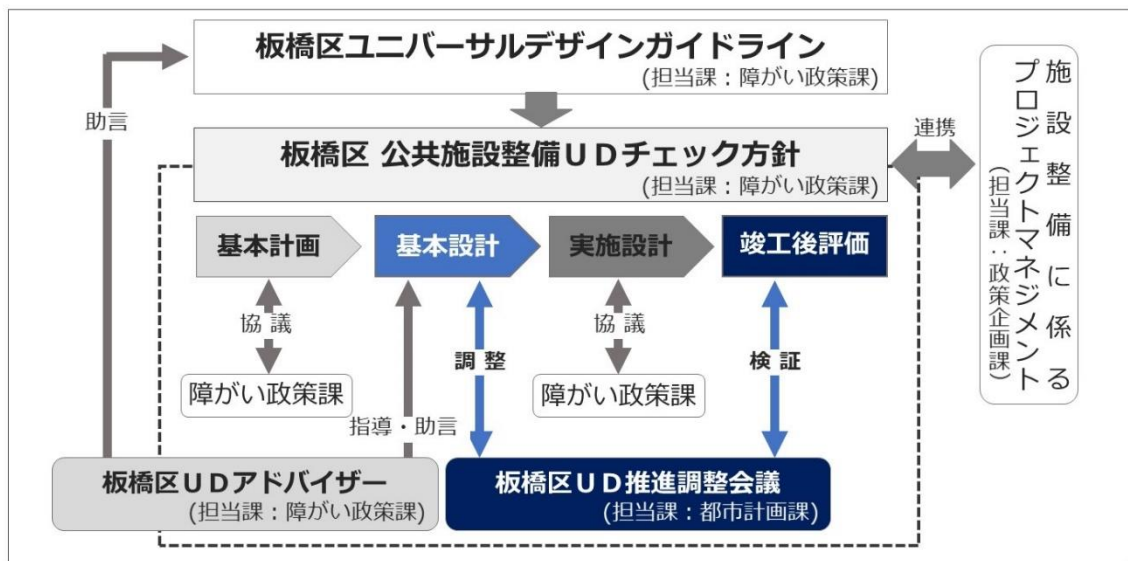
ユニバーサルデザインチェック（以下「UDチェック」）は、統一的なユニバーサルデザインの考え方に基づきチェックを行うことを通じて、個々の公共施設の価値だけでなく区の公共施設全体の価値を高め、すべての人が快適に利用できる施設を整備することを目的としています。

〈UDチェックの対象となる施設整備工事〉

- (1) 建築工事のうち、「施設整備に係るプロジェクトマネジメント要領」の対象となる新築、改築、増築、大規模改修工事
- (2) 公園の新設・全面改修工事
- (3) 上記(1)及び(2)と一体的に整備される道路等の公共施設及び工作物

## 板橋区公共施設整備ユニバーサルデザインチェック事業について

### UDチェックの体制



## (6) 実施計画 指針3の推進事業より

番号	72	事業名	公園・公衆トイレの改築
担当課	みどりと公園課		
事業概要	老朽化した公園・公衆トイレを改築し、ユニバーサルデザインを推進するなど、機能を充実させることで、だれもが使いやすい環境を整備します。		

〈令和3(2021)年度〉

- ・設計3(完了3)か所(三葉児童遊園 ほか2件)
- ・改築2(完了2)か所(高島平一丁目公園 ほか1件)

〈令和4(2022)年度〉

- ・設計2(完了2)か所(赤塚七丁目児童遊園 ほか1件)
- ・改築3(完了3)か所(三葉児童遊園 ほか2件)

〈令和5(2023)年度〉

- ・設計4(完了4)か所(三園公園 ほか3件)
- ・改築3(完了3)か所(赤塚七丁目児童遊園 ほか2件)


〈令和6(2024)年度※見込含む〉

- ・設計4(完了4)か所(上板富士公園 ほか3件)
- ・改築5(完了5)か所(三園公園 ほか4件)

### 3 令和6年度からの新たな事業の実施について

板橋区基本計画 2025 の短期的なアクションプログラムである「いたばしNo.1 実現プラン 2025」(以下、「No.1 プラン」という。)には、区の主要事業のうち、計画的に進行管理する事業として位置付けられた「実施計画事業」がある。No.1 プラン改訂版に基づき、令和6年度より「公共施設トイレのバリアフリー化」を新規実施計画事業として位置付け、計画的に事業を推進していく。

改修時期を迎えた公共施設(学校・公園を除く)のトイレの洋式化や段差解消、大型ベッド・オストメイト対応・ベビーベッド・ベビーチェア等各種機能の導入を検討するとともに、各施設の特性や利用者に配慮した点字ブロック・手すり・サイン・授乳スペースなど施設内における移動の円滑化に資する整備を行う。

No.	050	事業名	公共施設トイレのバリアフリー化	
担当部課	福祉部 障がい政策課、政策経営部 施設経営課			
事業概要	改修時期を迎えた公共施設におけるトイレのバリアフリー化を行うとともに、各施設の特性や利用者に配慮したユニバーサルデザインの推進に取り組みます。			
	SDGsの視点	すべての人が快適かつ安全に利用できる公共施設の整備に取り組みます		
	施策	ユニバーサルデザインの推進		
	事業の成果	トイレのバリアフリー化		
2か年事業量	年度別計画		令和8(2026)年度以降の方向性	
	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度		
バリアフリー化8か所	バリアフリー化4か所	バリアフリー化4か所	整備事業継続	
2か年事業経費計522百万円	285百万円	237百万円		

いたばしNo.1 実現プラン 2025 改訂版(令和6年3月発行) P.67より引用

※1か所=1建物のことをいう。

※1建物あたり複数の施設を含む場合がある。

(例:1建物に保育園・児童館の2つの施設)